

◆ブラックマジックデザイン：DaVinci Resolve

18.1 を発表

SNS 用の縦方向解像度、DaVinci Neural Engine AI による音声分離、Fairlight のオートメーションカーブ用のベクトルキーフレームなどの機能を追加するメジャーアップデート！



Blackmagic Design はこの日、DaVinci Resolve 18.1 を発表した。今回のソフトウェアアップデートは、TikTok、Snapchat、Instagram TV などの SNS 用の縦方向解像度での編集、複数ユーザーでコラボレーションする際のピン内の個別タイムラインの自動ロック機能を追加。

また、DaVinci Neural Engine による AI 会話レベラーおよび AI 音声分離ツールが、カット / エディット / Fairlight ページに追加され、Fairlight オートメーションカーブ編集用のベクトルキーフレームも追加された。Fairlight グリッドのサポートが追加されたことで、タイムコードや音楽のテンポに基づいてクリップをグリッドに配置できる。DaVinci Resolve 18.1 では、ビデオクリップに付随するオーディオが維持されるので、ATEM Mini ISO から読み込んだプロジェクトをより簡単に編集できる。

DaVinci Resolve 18.1 は、Blackmagic Design ウェブサイトからダウンロード可能。

DaVinci Resolve 18.1 では、TikTok、Snapchat、Facebook のショート動画、Instagram TV などの動画をすばやく簡単に制作、書き出し、投稿できる。1080x1920 など、SNS 用の縦方向解像度のサポートが追加され、プロジェクト設定から正方形および縦方向の解像度を直接選択できるので、タイムラインを素早くセットアップして動画を制作できる。新たに搭載されたタイムラインロック操作により、他のエディターと同時に共同作業もより簡単になる。これは自動で行われる操作で、2 人のユーザーが同じタイムラインを選択するのを防ぐために、最初のユーザーにタイムラインがロックされる。タイムラインピン全体をロックする必要はない。これにより、複数のエディターが同じピンの異なるタイムラインで同時に作業できる。

オーディオに関しては、AI ベースの音声分離トラック FX が新しく追加され、録音された音声から不要な音を除去できる。DaVinci Neural Engine の新しい AI ベースのコアエフェクトプロセスを用いた DaVinci Neural Engine による音声分離が、カット / エディット / Fairlight ページに追加されたことで、会話音声を背景音から分離し、中程度の雑音や飛行機、破裂音などを除去できるため、音声

のみを抽出可能。音声分離は、騒音がある場所でのインタビューや会話の収録に最適である。

インスペクタの会話レベラートラック FX は、クリップのゲインやオートメーションカーブでレベルを繰り返し調整する必要なく、録音された会話を処理し、滑らかにする。コントロールには、リアルタイムでスクロールする波形表示、フォーカスプリセット、3 つの処理オプションが含まれ、自然に聞こえる会話音声を簡単に作成できる。Fairlight のオーディオのオートメーションカーブ用のベクトルキーフレームが追加されたことで、標準ツールでキーフレームの入力、編集、トリム、ナッジを視覚的に実行できる。カーブやキーフレームをより早く簡単に管理できる新しいオートメーション編集ビューにも対応。DaVinci Resolve 18.1 で Fairlight グリッドのサポートが追加されたことで、タイムコードや音楽のテンポに基づいてクリップをグリッドに配置できる。

今回のアップデートにより、エディターは今まで以上にスムーズに編集できるようになる。ATEM Mini からプロジェクトの読み込みが向上し、ビデオクリップに付随するオーディオが自動的に維持されるので、読み込んだプロジェクトを簡単に編集でき、ワークフローが向上する。また、マルチカム切り替え、オーディオレベル、イン点 / アウト点のトリムなど、DaVinci Resolve Speed Editor の機能がエディットページに追加された。これらの機能をサーチダイヤルと併用することで、さらに作業を効率化できる。さらに、字幕トラックのプリセットと各トラックのフォーマットルールにも対応。これにより、サイズやバックグラウンドなどのトラック設定を維持したまま、フォントやスタイルなど、各字幕キャプションの設定を個別に調整できる。

Fusion ページに Magic Mask のサポートが追加されたことで Fusion ユーザーは、ワークフローを高速化できる。Magic Mask パレットは、DaVinci Neural Engine を使用して、動物、車、人物、物体を検出し、ショット内の動きをトラッキングする。このようなクリーンなトラベリングマットを Fusion ページで直接作成し、登場人物にエフェクトを追加したり、背景をスタイライズできるようになった。また、一般的なキーワードやカテゴリーで 200 以上のツールを検索できるようになる。このスマート検索機能により、正確なツール名が分からない場合でもリストをフィルターしてすばやくツールを見つけ出し、VFX に適用できる。

DaVinci Resolve 18.1 は、Dolby Vision 5.1.0 シネマトリムのサポートも追加。ハイダイナミックレンジ映像の輝度レベルを調整して映画やテレビに最適化できる。また、DaVinci Resolve のユーザーインターフェースを段階的にスケーリングして、使用している Windows や Linux のディスプレイに解像度を最適化できる機能が追加されたので、あらゆるインターフェースでフォントが見やすくなる。

さらに、複数のツールで性能が大幅に向上。内部処理のアップデートにより、テキスト+が最大 10 倍速、スタビライゼーション、フェイス修正のトラッキングおよび分析が 5 倍速、空間的ノイズ除去が 4 倍速、大規模なノードグラフの再生パフォーマンスが改善、

Apple シリコン搭載のシステムで Blackmagic RAW のデコーディングが向上。

「今回のメジャーアップデートでは、SNS 用の縦方向解像度が追加されました。これにより、動画を TikTok、Snapchat、Facebook ショート動画、Instagram TV などにすばやく簡単に投稿できます。」 Blackmagic Design の CEO、グラント・ペティは語る。「また、DaVinci Neural Engine AI による音声分離ツール、Magic Mask などの Fusion の新機能に加え、多くの性能が向上しました。エキサイティングですね。今回アップデートされた DaVinci Resolve の機能を使用して、ユーザーの皆さまがどのような制作を行うのか、非常に楽しみです。」

DaVinci Resolve 18.1 の主な機能



- プロジェクト設定で SNS 用の縦方向解像度オプションを選択可能。
 - YouTube へのアップロード用にカスタムサムネイルおよびチャンネルを選択可能。
 - 個別のタイムラインロックに対応し、複数ユーザーによるコラボレーションが向上。
 - DaVinci Neural Engine による音声分離 (DaVinci Resolve Studio のみ)。
 - スムーズで自然なオーディオを実現する会話レベラー。
 - Fairlight オートメーションカーブ編集用のベクトルキーフレーム。
 - タイムコードまたは音楽のテンポに合わせた編集を行える Fairlight グリッドのサポート。
 - ビューメニューの再編成および合理化。
 - 編集タイムラインで ResolveFX ダストバスターをサポート。
 - ATEM Mini ISO プロジェクトの読み込みが向上し、ビデオクリップに付随するオーディオを維持。
 - エディットページの DaVinci Resolve Speed Editor 機能が向上。
 - 字幕キャプションのプロパティを個別にオーバーライド可能。
 - 字幕トラックのプリセットと各トラックのフォーマットルールに対応。
 - Fusion ページで Magic Mask をサポート。
 - Dolby Vision シネマトリムのサポート
 - Windows および Linux における表示スケーリング設定に対応
- ご購入と価格

DaVinci Resolve 18.1 アップデートは、Blackmagic Design ウェブサイトからダウンロード可能。

◆ Adobe Premiere Pro アップデート

新しく更新されたバージョンの Adobe Premiere Pro では、アプリケーション全体でより迅速かつ効率的に作業できるように、クリエイティブ機能と組織機能が強化されている。

Team Projects における共同編集の改善からマスキングビヘイビアの改善に至るまで、最新バージョンはより速く、より流動的で、カスタマイズ可能だけでなく、プリプロダクションからポストプロダクションまでのコラボレーションも強化している。

キャプションをグラフィックスにアップグレード

キャプションをグラフィックスに変換することで、画面上のテキストをよりクリエイティブにコントロールすることができる。Adobe Premiere Pro の音声のテキスト化で作成したキャプションを使用しても、スタイル化されたアニメーショングラフィックを作成できる。

Adobe Premiere Pro での共同編集

Adobe Premiere Pro のヘッダーバーから直接、共同編集者を追加でき、チームプロジェクトで現在作業している人を確認できる。

シーケンスのロック

誰かがシーケンスで作業している場合、Adobe Premiere Pro はそれを表示し、競合や重複を避けるために自動的にロックする。

共同編集者と変更を簡単に共有

公開ボタンを使って編集内容を共有できます。Adobe Premiere Pro の新しい「変更」列には、シーケンスが編集されたことが表示されるため、共同作業者はアップデート内容を確認することができます。

複数のトラックのトグルスイッチを選択

Ctrl (Windows) または Command (macOS) を押しながら複数のトラックを選択し、可視性やロックなどのトラックヘッダースイッチの状態を有効、無効、または逆にすることで、トラックのターゲットングを簡素化できる。

GPU deBayering による ARRIRAW サポートの向上

ソース設定の拡張と GPU deBayering によるリアルタイムの最高画質再生により、ARRIRAW 映像の価値をさらに高めることができる。

RED V-Raptor XL カメラのサポート

RED V-Raptor XL 映像の読み込みに対応し、Apple Silicon では Metal GPU deBayering、Windows では OpenCL が改善されている。

拡張された XAVC HDR のサポート

イントラおよびロング GOP エンコーディングの両方をサポートする Rec.2100 PQ HDR で XAVC を書き出すことができる。

詳細は以下の通り。

<https://helpx.adobe.com/jp/premiere-pro/using/whats-new.html>



◆ NHK は災害に備える取り組みとして、「大雪」から命を守るアナウンサーの「呼びかけ」の文例と音声を新たに公開した。

「大雪の予報が出たとき」「大雪になったとき」の19の文例データと音声データで、それぞれダウンロードできる。文例の中には、高齢者の事故が多い「除雪・雪下ろしの際の呼びかけ」や車の立往生などに対応した「ドライバー向けの呼びかけ」などがある。

自治体や自治会、企業などの防災関係の方々には、活用していただければと考えている。

(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/>)

(https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/yobikake/yuki_phase02-2/)

命を守るアナウンサーの呼びかけは、東日本大震災をきっかけに、被災者や災害の専門家、避難情報の専門家に取材をして作成したNHK オリジナルのノウハウである。今夏に「大雨」から命を守る呼びかけ文例を公開したところ、

実際の大雨時に活用したと自治体から連絡がきたほか、自治体やコミュニティFMからの依頼を受けて、地域局のアナウンサーによる勉強会が開催されるなど、活用が広がっている。「大雪」から命を守る呼びかけの文例と音声を公開～地域の防災・減災の参考に～

ホワイトアウトの危険性と安全対策を呼びかける1分の動画も制作した。バーチャル技術を活用したもので、放送のほかホームページにも掲載する。地域の防災意識を高めるための活動に役立てられればと考えている。

北海道、東北、北陸などの地域放送局のアナウンサーが出演する地域版も制作する予定。

<https://www3.nhk.or.jp/news/special/suigai/articles/11070/>

【参考・関連資料】

8月23日リリース 大雨から命を守る アナウンサーの“呼びかけ”を公開

<https://www.nhk.or.jp/info/otherpress/pdf/2022/20220823.pdf>

9月1日リリース 防災の“呼びかけ” 音声が誰でも利用可能に AIによる音声データのオープン化

<https://www.nhk.or.jp/info/pr/toptalk/assets/pdf/kaichou/2022/09/001.pdf>

(問い合わせ) NHK 広報局 03-5455-2458



大雪に対応する呼びかけ

除雪・雪下ろしの呼びかけ - 大雪になったとき

